

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

事業報告書

公益社団法人日本将棋連盟
会長 清水市代

令和 7 年度 公益社団法人日本将棋連盟

事 業 報 告

〔自 令和 7 年 4 月 1 日～ 至 令和 8 年 3 月 3 1 日〕

【定款抜粋】

第 4 条 本連盟は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 棋戦を主催し対局棋譜の提供及び棋戦の解説講評等を行い、将棋の普及啓発を推進する
- (2) 機関誌の定期発行・棋書の随時刊行により、将棋の普及発展を図る
- (3) 全国各地で講習会、大会を開催するとともに、支部等を設置して広域的に事業を展開する
- (4) 国際的な対局の開催や国際大会の支援を通じて、将棋文化を世界に発信する
- (5) セミナー・育成等の修練の場として将棋会館を設立し、一般への施設貸与にも供することにより広く棋道の発展を図る
- (6) 専門棋士を全国各地及び海外へ派遣し、将棋の拡大発展を図る
- (7) 各文化団体と連携を図り、日本固有の文化を継承発展させる活動に寄与する
- (8) 学校教育の場において将棋の普及啓発が図られるための活動を推進する
- (9) アマチュア段級位制度を通じて、将棋の普及啓発を図るため免状、認定状等を発行、交付する
- (10) その他本連盟の目的を達成するため必要な事業

定款 第4条（1）項に関する事業報告…1. 事業（1）棋戦事業

1. 竜王戦（第38期 読売新聞社）

- （1）現役棋士と女流棋士4名・奨励会三段1名・アマチュア4名の計181名が参加して、1～6組に分かれてトーナメント戦（ランキング戦）を行った。
- （2）各クラスからの優秀成績者11名による決勝トーナメントを行い、佐々木勇気八段が挑戦者となった。
- （3）藤井聡太竜王と佐々木勇気八段との間で七番勝負が行われ、4連勝で藤井聡太竜王がタイトルを防衛した。
- （4）リアルタイム中継が行われた対局があった。
＜七番勝負が行われた期間 10月～12月＞

2. 名人戦（第83期 朝日新聞社・毎日新聞社）

- （1）A級・B級1組・B級2組・C級1組・C級2組に136名が参加し、永瀬拓矢九段がA級の最高成績者となり、名人への挑戦者となった。
- （2）藤井聡太名人と永瀬拓矢九段との間で七番勝負が行われ、4勝1敗で藤井聡太名人がタイトルを防衛した。
- （3）リアルタイム中継が行われた対局があった。
＜七番勝負が行われた期間 4月～6月＞

3. 叡王戦（第10期 不二家）

- （1）シード者以外の現役棋士計166名が参加して、トーナメント形式による段位別予選を行った。
- （2）シード者4名と予選通過者12名の計16名による本戦トーナメント戦を行い、斎藤慎太郎八段が挑戦者となった。
- （3）伊藤匠叡王と斎藤慎太郎八段との間で五番勝負が行われ、3勝2敗で伊藤匠叡王がタイトルを防衛した。
- （4）リアルタイム中継が行われた対局があった。
＜五番勝負が行われた期間 4月～6月＞

4. 伊藤園お〜いお茶杯王位戦（第66期 新聞三社連合）

- （1）シード者以外の現役棋士と女流棋士2名の計168名が参加して、トーナメント形式による予選を行った。
- （2）シード者4名、予選通過者8名の計12名が紅白2組に分かれて総当たりのリーグ戦を行い、紅白各組の最高成績者による挑戦者決定戦を行い、永瀬拓矢九段が挑戦者となった。
- （3）藤井聡太王位と永瀬拓矢九段との間で七番勝負が行われ、4勝2敗で藤井聡太王位がタイトルを防衛した。
- （4）七番勝負はリアルタイム中継を行った。
＜七番勝負が行われた期間 7月～9月＞

5. 王座戦（第73期 日本経済新聞社）

- （1）シード者以外の現役棋士と女流棋士4名の計169名が参加して、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
- （2）シード者5名と予選通過者11名の計16名による挑戦者決定トーナメント戦を行い、伊藤匠叡王が挑戦者となった。
- （3）藤井聡太王座と伊藤匠叡王との間で五番勝負が行われ、3勝2敗で伊藤匠叡王がタイトルを奪取した。
- （4）リアルタイム中継が行われた対局があった。

＜五番勝負が行われた期間 9月～10月＞

6. 棋王戦コナミグループ杯（第51期 共同通信社）

- （1）シード者以外の現役棋士と女流棋士1名・アマチュア1名の計149名が参加して、トーナメント形式による予選を行った。
- （2）シード者25名と予選通過者8名の計33名による挑戦者決定トーナメント戦を行い、増田康宏八段が挑戦者となった。（敗者復活戦を併用）。
- （3）藤井聡太棋王と増田康宏八段との間で五番勝負が行われ、3勝2敗で藤井聡太棋王がタイトルを防衛した。
- （4）リアルタイム中継が行われた対局があった。

＜五番勝負が行われた期間 2月～3月＞

7. ALSOK 杯王将戦（第75期 日本将棋連盟単独主催）

- （1）シード者以外の現役棋士168名が参加して、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
- （2）シード者4名、予選通過者3名の計7名で総当たりのリーグ戦を行い、最高成績者の永瀬拓矢九段が挑戦者となった。
- （3）藤井聡太王将と永瀬拓矢九段との間で七番勝負が行われ、4勝3敗で藤井聡太王将がタイトルを防衛した。
- （4）リアルタイム中継が行われた対局があった。

＜七番勝負が行われた期間 1月～3月＞

8. ヒューリック杯棋聖戦（第96期 産経新聞社）

- （1）シード者以外の現役棋士と女流棋士2名の計169名が参加して、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
- （2）シード者4名、予選通過者12名の計16名で決勝トーナメントを行い、杉本和陽六段が挑戦者となった。
- （3）藤井聡太棋聖と杉本和陽六段との間で五番勝負が行われ、3連勝で藤井聡太棋聖がタイトルを防衛した。
- （4）リアルタイムで中継が行われた対局があった。

＜五番勝負が行われた期間 6月～7月＞

9. 朝日杯将棋オープン戦（第19回 朝日新聞社）

- （1）シード者以外の現役棋士と女流棋士3名、アマチュア10名の計175名が参加して、トーナメント形式による一次予選、二次予選を行った。
- （2）シード者8名と予選通過者8名の計16名による本戦トーナメントを行い、決勝戦は藤井聡太竜王・名人が伊藤匠二冠を破り、優勝した。本戦1回戦と2回戦の一部と準決勝・決勝は公開にて行われた。
- （3）リアルタイム中継が行われた対局があった。

＜準決勝・決勝は2月＞

10. 銀河戦（第33期 囲碁将棋チャンネル）

- （1）シード者以外の現役棋士計136名が参加して、予選を行った。
- （2）シード者35名と予選通過者57名、女流2名、アマチュア2名の計96名をA～Hの8組に分け、勝ち抜き方式による本戦トーナメントを行った。
- （3）各組の最終勝ち上がり者と最多連勝者の計16名により、決勝トーナメントを行い、決勝は豊島将之九段が藤井聡太竜王・名人を破り、優勝した。
- （4）（2）（3）はテレビ放映された。

＜決勝放映は12月＞

11. NHK杯将棋トーナメント（第75回 日本放送協会）

- （1）シード者以外の現役棋士計142名が参加して、トーナメント形式による予選を行った。
- （2）シード者31名と予選通過者18名と女流棋士出場者決定戦通過者1名による計50名で本戦トーナメントを行い、決勝戦は藤井聡太竜王・名人が増田康宏八段を破り、優勝した。
- （3）（2）はテレビ放映された。
＜決勝放映は3月＞

12. 将棋日本シリーズJTプロ公式戦2025（第46回 地方新聞11社、協賛：日本たばこ産業）

- （1）前回優勝者と選抜棋士11名の計12名でトーナメントを行い、決勝戦は藤井聡太竜王・名人が永瀬拓矢九段を破り、優勝した。本棋戦では、全11対局を全国の都市で行い、公開（無料）にて対局を行った。併せてテーブルマークこども大会を全会場で行った。
- （2）全11対局は、リアルタイム中継が行われた。
＜決勝は11月＞

13. 達人戦立川立飛杯（第3回 特別協賛：立飛ホールディングス）

- （1）50歳以上（2025年4月1日現在）の現役棋士によるトーナメント形式による予選（参加56名）を行った。
- （2）シード者4名と予選通過者4名の計8名で本戦を行い、決勝戦は森内俊之九段が羽生善治九段を破り、優勝した。
- （3）本戦は公開にて対局が行われ、リアルタイム中継行われた。
＜決勝は12月＞

14. 新人王戦（第56期 しんぶん赤旗）

- （1）26歳以下（10月1日現在）かつ六段以下（タイトル戦出場経験者を除く）の現役棋士18名、女流棋士4名、奨励会三段17名、アマチュア1名（赤旗名人戦優勝者）の合計40名によるトーナメントを行った。
- （2）決勝三番勝負は服部慎一郎七段が斎藤明日斗六段を2勝1敗で破り、優勝した。
＜三番勝負が行われた期間 10月＞

15. 加古川清流戦（第15期 加古川市、公益財団法人加古川市ウェルネス協会）

- （1）四段棋士と選抜奨励会三段、女流棋士2名、アマチュア3名の計40名でトーナメント戦を行った。
- （2）決勝三番勝負は加古川市内で行われ、吉池隆真四段が柵木幹太四段を2勝1敗で破り、優勝した。
＜三番勝負が行われた期間 10月＞

16. ABEMA トーナメント（2025 ABEMA）

- （1）タイトル保持者・A級棋士ら上位棋士8名がドラフトで2名の棋士を選び、3名1チームを編成した。
- （2）その他、エントリートーナメントを行い、勝ち上った3名の棋士がチームを組み、全8チームで予選・決勝トーナメントを実施、チーム天彦（佐藤天彦九段・広瀬章人九段・増田康宏八段）が優勝した。
- （3）リアルタイム中継が行われた対局があった。
＜決勝戦の放映は8月＞

17. SUNTORY 将棋オールスター東西対抗戦（2025 サントリー食品インターナショナル）

- （1）東軍・西軍に分かれて、ファン投票により東西各3名を選出した。

- (2) その他、予選（エントリー方式）を実施し、東西各3名を選出した。
- (3) ファン投票と予選により選出した東軍・西軍各6名のチーム編成により、公開で東西対抗戦を実施し、西軍が勝利した（準公式戦）。
- (4) リアルタイム中継が行われた対局があった。

＜決勝は12月＞

18. ヒューリック杯白玲戦（第5期 ヒューリック）

- (1) 第4期により決定した現役女流棋士の順位により、A級・B級・C級・D級の4クラスに分かれてリーグ戦（女流順位戦）を行った。各クラスの成績によりリーグを昇降した。
- (2) 西山朋佳白玲と第5期女流順位戦A級の最高成績を収めた福間香奈女流五冠との間で七番勝負が行われ、西山朋佳白玲が4勝2敗でタイトルを防衛した。
- (3) 七番勝負はリアルタイム中継を行った。

＜七番勝負が行われた期間 8月～10月＞

19. 大成建設杯清麗戦（第7期 大成建設）

- (1) 現役女流棋士73名による予選（2敗失格方式）を行った。
- (2) 予選を勝ち抜いた4名による本戦トーナメントを行い、渡部愛女流四段が挑戦者となった。
- (3) 福間香奈清麗と渡部愛女流四段との間で五番勝負が行われ、3連勝で福間香奈清麗がタイトルを防衛した。
- (4) 五番勝負はリアルタイムで中継を行った。

＜五番勝負が行なわれた期間 7月～8月＞

20. マイナビ女子オープン（第19期 マイナビ）

- (1) 前期本戦進出者（予選シード者）、予備予選免除者、予備予選を通過した現役女流棋士およびチャレンジマッチ（アマチュア予選）を通過した計48名で予選を行った。
- (2) シード者4名と予選通過者12名の計16名による本戦トーナメントを行い、西山朋佳女流三冠が挑戦者となった。
- (3) 福間香奈女王と西山朋佳女流三冠による五番勝負は2026年4月に開幕し、現在両者による第19期女王のタイトルが争われている。

＜五番勝負が行われる期間 4月～6月＞

21. リコー杯女流王座戦（第15期 リコー）

- (1) シード者を除くエントリー女流棋士と東日本・西日本アマチュア選抜予選を勝ち上がったアマチュア6名、海外招待選手選抜大会で優勝した海外選手1名の計72名が参加して、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
- (2) シード者4名と予選通過者12名の計16名による本戦トーナメントを行い、西山朋佳女流二冠が挑戦者となった。
- (3) 福間香奈女流王座と西山朋佳女流二冠との間で五番勝負が行われ、3連勝で福間香奈女流王座がタイトルを防衛した。
- (4) 五番勝負はリアルタイムで中継を行った。

＜五番勝負が行われた期間 10月～12月＞

22. ユニバーサル杯女流名人戦（第52期 報知新聞社）

- (1) シード者以外の女流棋士69名が参加して、トーナメント形式の予選を行った。
- (2) シード者6名、予選通過者4名の計10名で女流名人リーグを行い、最高成績者の西山朋佳女流二冠が挑戦者となった。
- (3) 福間香奈女流名人と西山朋佳女流二冠との間で五番勝負を行なわれ、3連勝で西山朋佳女流二冠がタイトルを奪取した。

(4) 五番勝負はリアルタイムで中継を行った。

＜五番勝負が行なわれた期間 1月～3月＞

23. 女流王位戦（第36期 新聞三社連合）

(1) シード者以外の女流棋士69名が参加して、トーナメント形式の予選を行った。

(2) シード者6名、予選通過者6名の計12名が紅白2組に分かれて総当たりのリーグ戦を行い、紅白各組の最高成績者による挑戦者決定戦を行った。その結果、西山朋佳女流三冠が挑戦者に決まったが、挑戦者の出場辞退により、次点の伊藤沙恵女流四段が挑戦者に繰り上がることとなった。

(3) 福間香奈女流王位と伊藤沙恵女流四段との間で五番勝負が行われ、3勝2敗で福間香奈女流王位がタイトルを防衛した。

(4) ネット配信された対局があった。

＜五番勝負が行われた期間 4月～6月＞

24. 霧島酒造杯女流王将戦（第47期 囲碁将棋チャンネル）

(1) シード者以外の女流棋士71名とアマチュア5名の計76名が参加して、トーナメント形式の予選を行った。

(2) シード者4名と予選通過者12名の計16名で本戦トーナメントを行い、中七海女流三段が挑戦者となった。

(3) 西山朋佳女流王将と中七海女流三段との間で三番勝負が行われ、2勝1敗で西山朋佳女流王将がタイトルを防衛した。

(4) (2)(3)はテレビ放映された。

＜三番勝負が行われた期間 10月＞

25. 大山名人杯倉敷藤花戦（第33期 倉敷市・倉敷市文化振興財団・山陽新聞社）

(1) 女流棋士76名とアマチュア2名の計78名が参加して、トーナメントを行い、伊藤沙恵女流四段が挑戦者となった。

(2) 福間香奈倉敷藤花と伊藤沙恵女流四段との間で三番勝負が行われ、2勝1敗で福間香奈倉敷藤花がタイトルを防衛した。

(3) ネット配信された対局があった。

＜三番勝負が行われた期間 11月＞

定款 第4条（2）項に関する事業報告…収1 物品販売、出版、付帯収益事業

1. 月刊「将棋世界」

A5判、244頁、付録1冊、定価920円、毎月3日発売

販売：株式会社マイナビ出版

⇒予定通り、刊行した。

2. 「令和7年版将棋年鑑」

B5判、680頁、定価（本体5,000円＋税）、8月上旬発売、直販品

⇒予定通り、刊行した。

3. 書籍

イ、「藤井聡太推薦！中終盤が強くなる次の一手」将棋書籍編集部 編

全書判、224頁、定価（本体1,580円＋税）

⇒予定通り、刊行した。

他随時刊行、発売した。

以上、将棋普及を目的とした出版物を刊行した。

定款 第4条（1）項、（4）項、（6）項に関する普及事業報告

…1. 事業（3）普及啓発事業 5）、7）

1. 令和7年度社会福祉活動支援計画
支援対象大会名 第47回全国視覚障害者将棋大会
実施時期 令和7年11月22・23日（土・日）
会 場 日本視覚障害者センター（東京都新宿区）
派遣者 日本将棋連盟 棋士 勝又清和七段
2. 日本文化紹介事業「海外棋士派遣事業」
派遣先 ポーランド・ヴロツワフ
日 程 令和7年7月24日～27日
派遣者 日本将棋連盟 棋士 増田裕司七段
3. 日中友好文化交流事業「海外棋士派遣事業」
事業名 第8回日中友好青少年将棋大会
日 程 令和6年8月9・10日（土・日）
会 場 中国・北京「日本大使館」
派遣者 日本将棋連盟 棋士 青野照市九段、所司和晴七段

定款 第4条（3）項、（6）項、（8）項に関する普及開発報告

…1. 事業（3）普及啓発事業 3）、5）

1. 親子ふれあい将棋広場 7月26日（土） 更生保護会館（東京都渋谷区）
2. 将棋指導員審査 4月 6日（日） 福島・東京・名古屋・大阪
オンライン
3. 第57期女流アマ名人戦 9月20日（土） プラザマーム（東京都中央区）
9月21日（日） 名人戦クラスのベスト8以上
駒テラス西参道（東京都渋谷区）
4. 第51回「将棋の日」 11月22日・23日（土・日）
SHOWA グループ市民会館（兵庫県加古川市）
5. 学校へ将棋指導者派遣事業 4月～3月
6. 文部科学大臣杯第20回小・中学校将棋団体戦 8月 8日（金）
サンケイプラザ（東京都千代田区）

⇒以上、実施した。

定款 第4条（3）項、（6）項、（10）項に関する事業報告

…1. 事業（3）普及啓発事業 8）、10）

1. 将棋道場事業
将棋会館（東京）、関西将棋会館（大阪）にて将棋道場営業。
入場者同士の対局による棋力認定や、専門棋士による指導対局を行なった。
2. 北海道将棋道場事業
北海道将棋会館（札幌市）にて将棋道場営業。
北海道支部連合会へ運営を依頼。

入場者同士の対局による棋力認定や、専門棋士による指導対局を行なった。

定款 第4条（5）項に関する事業報告…1．事業（3）普及啓発事業（8）、10）

1．東京将棋会館 教室講習

◇ビギナーズセミナー 毎 週 火曜日 月4回

⇒実施した。

◇ナイトビギナーズセミナー 毎 週 水曜日 月4回

⇒途中から、毎週火曜日も開催することになり、月8回実施した。

◇土曜子供入門教室 毎 週 土曜日 月4回 初心者から10級まで、小学生

⇒実施した。

◇師範棋士制度 毎 日（土日祝、年末年始を除く）

⇒実施した。

◇ナイト師範棋士制度 毎 週 木曜日 月4回

⇒実施した。

◇女流棋士レッスン 毎 週 月曜日と水曜日の午前中（年末年始除く）

⇒実施した。

◇タイトル戦・主要対局の大盤解説会を実施

⇒実施した。

◇子供大会等、各種将棋企画を実施

⇒実施した。

◇年末年始 将棋大会を実施

⇒実施した。

2．関西将棋会館 教室講習

◇こども将棋スクール 毎週 土・日曜日 月8回 小・中学生向け、級位者

⇒実施した。

◇レディースセミナー 毎週 月曜日 月4回 女性(一般)向け、初級・中級クラス

⇒実施した。

◇タイトル戦・主要対局の大盤解説会の実施

⇒実施した。

◇夏休み（7～8月）子供大会の実施

⇒実施した。

◇年末年始 将棋大会の実施

⇒実施した。

◇棋士・女流棋士による指導対局（土・日・祝）

⇒実施した。

3．東西将棋会館で棋具備品の貸し出し

⇒随時、実施した。

定款 第4条（6）項、（10）項に関する事業報告

…1．事業（3）普及啓発事業（2）、8）

1．子供将棋スクール 教室講習

◇子供将棋スクール渋谷校 毎週日曜日 小学生

◇子供将棋スクール町田校 毎週日曜日 小学生

- ◇子供将棋スクール川口校 毎月第２・４日曜日 小学生
 - ◇子供将棋スクール横浜校 毎月第２・４日曜日 小学生
- ⇒以上、実施した。

2. ヤマダこども将棋教室

- ◇全国規模のヤマダ電機１５店舗で開催
 - 講師は棋士及び将棋指導員、支部役員・会員、将棋指導員補佐
 - 対象は初心～５級、中学生以下
- ⇒実施した。

定款 第４条（８）項に関する事業報告…収１ 物品販売、出版、付帯収益事業

将棋関連商品事業予定

- ◇将棋盤・駒 高級品・普及品 随時販売した。
- ◇扇子 名人戦記念 ５月発売した
- 名人位 １０月発売した。
- 竜王戦記念 １月発売した。
- 竜王位 発売しなかった。
- タイトル保持者・棋士・女流棋士 随時発売した。
- ◇カレンダー・将棋手帳 １１月発売した。
- ◇将棋関連書籍・雑誌 随時発売した。
- ◇他グッズ（文具、雑貨、将棋タオル、大盤セット等） 随時作成した。
- ◇下記、新商品の開発を行なった。
 - ・伊藤匠二冠獲得記念扇子、クリアファイル、アクリルスタンド、缶バッジ
 - ・羽生善治九段 1,600 勝記念扇子、クリアファイル、ポストカード、マグネット
 - ・白雪ふきん
 - ・コマタロウボールチェーンぬいぐるみ
 - ・サコッシュ

定款 第４条（９）項に関する事業報告

1. 将棋免状認定

- ◇専門棋士指導による棋力認定
 - ◇棋道正師範・棋道師範・棋道指導員・将棋指導員による棋力認定
 - ◇専門誌紙上検定による棋力認定
 - ◇新聞・雑誌の紙上検定による棋力認定
 - ◇インターネットによる棋力認定
 - ◇テレビによる棋力認定
 - ◇記念認定
 - ◇将棋会館道場認定
 - ◇支部会員認定
- ⇒以上、実施した。

定款 第４条（１０）項に関する事業報告…1. 事業（３）普及啓発事業 ９）、１１）

1. 広報活動

- ◇各報道関係者・出版機関に将棋文化の宣伝を行なった。
- ◇会員・棋戦・イベント等の将棋に関する情報を発信した。
- ◇全国各地の公共機関・施設や企業より依頼された将棋イベントや講演等の協力を行なった。
- ◇テレビ・ラジオ番組・映画・WEB（将棋関係）へ資料を提供し、専門棋士の出演や協力、制作の協力を行なった。
- ◇各マスメディアからの取材等の協力を行なった。
- ◇出版社の書籍編集協力やゲームの商品化に協力した。
- ◇将棋対局における記録など資料整備を行なった。
- ◇ホームページ上により将棋の情報を一般の方々に公開した。
- ◇対局を写真撮影してマスコミに貸出を行なった。
- ◇棋士・女流棋士を起用する広告案件の対応と企画を行なった。

2. 電子メディア事業

- ◇日本将棋連盟公式サイト <https://www.shogi.or.jp/>にて将棋関連の情報を配信し、国内・海外への普及振興に努めた。
- ◇モバイルでの棋戦中継事業を実施した。
- ◇インターネット対局サイト「将棋倶楽部24」の運営に協力した。
2025年末でサービス終了。
- ◇社内ネットワークの運用を行なった。
- ◇PC、デジタル機器の資産管理と整備を行なった。
- ◇テレワーク環境の整備と推進を行なった。
- ◇ICT ツールを用いて情報資産を管理し、社内共有を推進した。
- ◇動画配信サイト、SNS を活用し、将棋の魅力を伝えた。

3. 普及推進事業

- ◇将棋文化振興支援団体（地方自治体代表者）を集めての交流会を行なった。
日程：令和7年10月18日（土）
会場：静岡県掛川市 「掛川市生涯学習センター」
- ◇将棋に関する正しい知識の浸透とそれを有するファンの適切な評価を目的とした将棋検定を行なう。
⇒実施しなかった。また、代替企画も行わなかった。
諸事情により、今後は廃止とさせていただきたく存じます。
- ◇渋谷区との「伝統文化の発展及び地域の魅力向上のための相互協力協定」に基づき、渋谷区「西参道プロジェクト」は継続して参画した。

4. ライセンス事業

日本将棋連盟の公認を付与し、将棋の普及につなげる新規事業の開発は行われなかった。

理事会・社員総会等に関する事項

	開催年月日	議事事項
常務会	2025 年 4 月 4 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 4 月 11 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 4 月 21 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 4 月 28 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 5 月 8 日	業務の管理、運営に関して

常務会	2025 年 5 月 20 日	業務の管理、運営に関して
理事会	2025 年 5 月 20 日	議案 第 1 号議案 令和 6 年度決算書類承認の件 第 2 号議案 令和 6 年度事業報告承認の件 第 3 号議案 会員規程改定の件 第 4 号議案 公式棋戦運用規程改定の件 第 5 号議案 第 76 回通常総会開催の件 ① 日時：令和 7 年 6 月 6 日 13 時～ ② 場所：日本青年館ホテル 第 6 号議案 第 76 回通常総会議長・副議長選出の件 ① 議 長：野月浩貴八段、 副議長：宮本広志六段 第 7 号議案 第 76 回通常総会議案の件 ① 令和 6 年度決算書類承認の件 ② 令和 6 年度事業報告承認の件 ③ 店舗 1 購入の件 ④ 定款変更の件 ⑤ フリークラス棋士制度要綱改定の件 ⑥ 理事（15 名）・監事（2 名） 選任の件 報告
常務会	2025 年 5 月 30 日	業務の管理、運営に関して
第 76 回通常総会	2025 年 6 月 6 日	議案 第 1 号議案 令和 6 年度事業報告承認の件 第 2 号議案 令和 6 年度決算書類承認の件 第 3 号議案 店舗 1 購入の件 第 4 号議案 定款変更の件 第 5 号議案 フリークラス棋士制度要綱改定の件 第 6 号議案 理事選任・千葉幸生 第 7 号議案 理事選任・森下 卓 第 8 号議案 理事選任・瀬川晶司 第 9 号議案 理事選任・片上大輔 第 10 号議案 理事選任・清水市代 第 11 号議案 理事選任・糸谷哲郎 第 12 号議案 理事選任・脇 謙二 第 13 号議案 理事選任・森 詳介 第 14 号議案 理事選任・佐竹康峰 第 15 号議案 理事選任・松本 大 第 16 号議案 理事選任・伊丹俊彦 第 17 号議案 理事選任・木村草太

		第 18 号議案 理事選任・行方尚史 第 19 号議案 理事選任・中村太地 第 20 号議案 理事選任・斎田晴子 第 21 号議案 監事選任・松岡幸秀 第 22 号議案 監事選任・佐藤義則
理事会	2025 年 6 月 6 日	議案 第 1 号議案 代表理事（会長）選定の件 第 2 号議案 業務執行理事（専務理事、常務理事） 選定の件 報告
常務会	2025 年 6 月 13 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 6 月 20 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 6 月 27 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 7 月 9 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 7 月 16 日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 （リモートによる）	2025 年 7 月 16 日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2025 年 8 月 1 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 8 月 13 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 8 月 22 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 8 月 29 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 9 月 10 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 9 月 17 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 9 月 24 日	業務の管理、運営に関して
理事会	2025 年 9 月 24 日	議案 第 1 号議案 倫理委員任命の件 報告
常務会	2025 年 9 月 30 日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 （リモートによる）	2025 年 9 月 30 日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2025 年 10 月 8 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 10 月 20 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 10 月 29 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 11 月 7 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 11 月 18 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 11 月 26 日	業務の管理、運営に関して
定例報告会	2025 年 11 月 26 日	正会員への報告及び質疑応答

(リモートによる)		
常務会	2025 年 12 月 2 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 12 月 8 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 12 月 15 日	業務の管理、運営に関して
理事会	2025 年 12 月 15 日	議案 第 1 号議案 令和 7 年度中間決算承認の件
常務会	2025 年 12 月 17 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2025 年 12 月 24 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2026 年 1 月 9 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2026 年 1 月 16 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2026 年 1 月 22 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2026 年 1 月 29 日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 (リモートによる)	2026 年 1 月 29 日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2026 年 2 月 12 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2026 年 2 月 18 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2026 年 2 月 27 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2026 年 3 月 11 日	業務の管理、運営に関して
常務会	2026 年 3 月 17 日	業務の管理、運営に関して
理事会	2026 年 3 月 17 日	議案 第 1 号議案 令和 8 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件 第 2 号議案 倫理委員任命の件 第 3 号議案 顧問選定の件 第 4 号議案 会館維持・修繕目的の対局料積立の件 第 5 号議案 フリークラス棋士制度改訂の件 第 6 号議案 順位戦昇級人数変更の件 報告
常務会	2026 年 3 月 25 日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 (リモートによる)	2026 年 3 月 25 日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2026 年 3 月 31 日	業務の管理、運営に関して